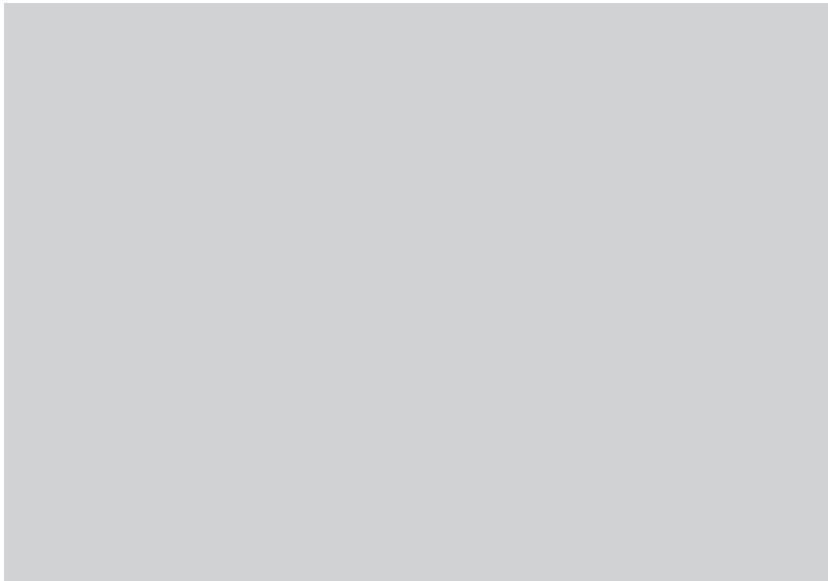


上町しせんの玉

園だより | 9月号 2023.9.7



赤ちゃんと暮らすということ (2023.8.22 櫻庭記)

赤ちゃんが寝る隣、マグフォーマーで遊ぶMくんとAくん。

2人は小声で「しーっ、いまKたちねてるからね」「うん。みて、トンネルできたよ」と話す。

MくんとAくんは、遊びながらも時々視線を赤ちゃんに向けて「うん、うん」と顔を見合わせます。

赤ちゃんと一緒に暮らすということ。存在を感じ合って暮らしあっていく。

同じ2歳児の2人。側で赤ちゃんを感じながら、自然に言葉と身体でやりとりしている2人に驚いた場面でした。

9月の予定



保育者の意図、保育者の専門性

私たち保育者が子どもたちと関わる時、「〇〇ちゃんにとってどうかな」「どんな遊びが好きかな」「どんな想いでいるだろう」と子どものことが頭をめぐります。そしてどのようにアクションをするのか。そういうことを私たちは「意図」と言ったりします。どんな意図をもって保育をするか。今回はその意図や保育者の想いが見えるようなエピソードを紹介します。まずはNちゃんちの大川さんのエピソードです。

Nちゃんちでうどんを作った日。

私「Tはお団子好きだよねえ～。前に富山行つてた時、お団子食べながらテレビ電話したね」
T「おしょうゆとおさとうのついたおだんごがすきなんだよ～」

私「じゃあさ、今度は本物でお団子屋さんやる？七輪出して、みたらしつけて。うどんもこんなに美味しく作れたんだから、できるんじゃない？」

Tの表情がぱあっと明るくなって、「やるやる！！」と。

次の週。Tがお手紙を書いてきた。

「まみ。Tがかえってきたら、おだんごやさんやろうね。たのしみにしてるね」という内容だった。

Tは前にも、お母さんの里帰り出産で半年ほど富山に帰っていた。半年ぶりに帰ってき

た時、輪の入り方や、友達関係など、苦労していることもあった。

今回も2週間くらい離れているから、戻ってきたらなにか楽しみなことがあればな。と思っていたところだった。

(2023.08.07 大川記「お団子屋さんをやろうとなったわけ」より)

Tが久しぶりに登園してきた。富山に帰る前に、「のらねこぐんだんのおだんごやさんのえほん、もってるから、こんどもってくるね！」と言っていた。

Tは、その絵本を持ってきていた。実はその日は、ウォータースライダーもあるから、大きい子はそっちに行くかと思っていたので、お団子屋さんはその後かなと思っていた。

TとSとJとMはもうすでに、部屋の一角をお団子屋さんにし始めていた。

私「え！こんな狭いところじゃ、本物のお団子作れないよ！七輪も出すって言ってたでしょ？部屋じゃ、けむりもなくもくで消防車きちゃうし、、」

T「あーそだつたそだつた！」

それから、キッチンさんに作り方を聞きに。たまたま、おだんご粉が少しあったので、試作を夕方作れることになった！

(2023.8.7 大川記「Tが帰ってきた、お団子屋さんどうなる？」より)

Tちゃんはどんな気持ちで長期休みを過ごすかな。以前はこうだったから今回は何か一緒に楽しみに待ちたいな。そういう意図を持って、Tちゃんに心を巡らせ、Nちゃんちはお団子屋さんをしました。

次はRちゃんちのあさみちゃんのエピソードです。

お盆期間のこと。子どもたちの登園もまばら。Rちゃんちでは、女の子のいつものメンバーがほぼお休みで、YちゃんはIちゃんやNと一緒に遊んでいた。

どうやら昨日のミーティングでお店屋さんごっこ話になつたのか、大きい子担当のぐっちゃんが誘いに来た。

Yは、はじめは「いまあそんでるから一つ」と断っていたが、Iも乗り気になつたようで、ふたりで前の部屋へ出かけて行った。そしてミーティングでもお店やさんごっこ話をしたようだつた。

その日の夕方。『前の部屋で続きやろう』の声かけに、再び前の部屋へ移動していく、Y。

「いつものメンバー」が、居ない中で、Yなりに自分でやることを見つけて、どのように交わさせて前の部屋に居るのだろう。わたしだつたら、すごく緊張するかもしれないなあ、と思いながら、Rちゃんちの部屋から前の部屋に思いを馳せる。

前の部屋に用事ができた。前の部屋にそと用事を済ませに行くと、Yちゃんはテーブルの横にちょこんと座って、何かを黙々と作っていた。同じテーブルにはMがいた。わたしは、できるだけ存在を消してみる。Yちゃんと目が合つたけど、お互い『あつ』と存在を確認し合つて、大人で言つたら“会釀”くらいの間のあいさつをする。

次の日。NとM.K.が登園した。“いつものメンバー”が少し揃つたことで、“いつも”の

やりとりが繰り広げられる。

今日もぐっちゃんがやって来る。「Yちゃん、昨日の続きやろう～！前の部屋行こう～」

Y「あつ、そうだったあ～！」

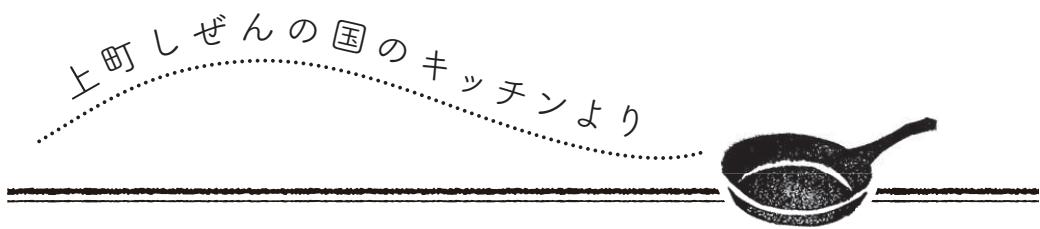
Nは『Nいかないよ？』と言つたけれど、Yちゃんはぐっちゃんと一緒に前の部屋へ出かけて行つた。

Yちゃんの『そうだったあ～！』は、義務感というよりも、少しのワクワクが混じつたような、ちょっと弾んだ『そうだったあ～！』に聞こえた。

Yは、自分でやりたいこと見つけて、やりたくてやつてるんだ…！ミーティングという公の場で話題にあがつたことを、自分ごととして受け入れて、『お店やさんごっこ、やるなら自分は何がやりたいかな？』って自分で考えて、取り組み始めて、楽しさも見出していたのかな。そしてそれは、前の部屋という場所や、お店やさんごっこという遊びの中に、自分の居場所をちゃんと見つけていたってことで、そんなYちゃんに、たくましさを感じた。(2023.8.23. 井上亜紗美「Yちゃんの選択」より)

2番目に大きい子になったYちゃん。そのYちゃんの想いを想像するあさみちゃん。心配しすぎたことも、背中を押してよかったということもあるようにも思います。しかしその想定があることないことは表面では同じ行動になつても大きく違うように感じます。

〇〇ちゃんのことを想像する中で、その眼差しをその子に重ねていく。それがいつもバッタリはまるわけではありませんが、保育者は色々なことを読み取りながら、こうかなああかなと探しながらも、その意図とアクションと子ども達のことを見極めながら、毎日を過ごす仕事だと改めて感じました。



かみまちの夏野菜

先日、園の畑へおさんぽに行った子どもたち。

夏野菜を収穫してきてくれました。

採ってきたとうもろこしの葉をむいてみることに。

葉っぱに包まれた中にある
実は、おおきく育っている
かな・・・?
むいてみると、中からはま
ばらに実のついたとうもろ
こしがでてきました。

「まだはやかったのかなー？」

「むしがたべちゃったんじゃない」

「まだちいさいのいっぱいあったから、もう
ちょっとまたたら、おおきくなるかな」と、いつも見るとうもろこしとの違いに、不思議そうな様子のことわざでした。

とうもろこしは、
ゆでて食べてみる
ことに。

ちょっといびつな
見た目のとうもろ

こし。おそるおそる食べてみると、、、

「あま~い！」と、こどもたちに人気でした！

小さな一本を、みんなで分けていただきま
した。

今年は猛暑が続いたため、
なかなか夏野菜が育ちませ
んでしたが、雨天が増えて
きた最近、一気におおきく
なりました！

すいかやきゅうりも、これ
から収穫を迎える予定です。
元気に育つ雑草の間には、バッタやカマキリなど、虫たちもたくさんいます。

少しずつ秋の気配を感じる
今日この頃ですが、もう少
し夏の畑を楽しめそうです。
– キッチン 久保田

鶏の梅しお焼き とっても簡単! ごはんがすすむおかずです

【材料】大人2人、子ども2人分
□ 鶏もも肉: 250g □ 塩こうじ(液体): 小さじ1
□ 梅干し: 2個 □ みりん: 小さじ1
□ なたね油: 小さじ1 □ しょうゆ: 小さじ1/2

- ① 鶏肉は食べやすい大きさに切る。
- ② 梅は種をとり、実をたたく。
- ③ ■の調味料を混ぜ、①に絡める。
- ④ フライパンになたね油をひき、③を焼く。
- ⑤ ②の梅を入れて絡め、すぐに火を止める。

食べてみたい! 食べてみたい!
**Recipi of
Kamimachi**
カミマチノレシピ



保健だより

朝夕、出勤前と出勤後に感じる日差しや風が少し変わってきたかな?と感じます。でもまだまだ日中は暑いですね。

先月も多様な感染症に罹る子どもがいました。

溶連菌感染症、アデノウィルス感染症、ヘルパンギーナ、突発性発疹、新型コロナウィルス感染症。

世の中的にもまた新型コロナウィルス感染症は増えてきていますね。

新型コロナウィルス感染症は5類となり、登園の目安としては

「＊発症した後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過すること」となっています。（＊症状が出た日を0日目として5日）

（※無症状の感染者の場合は、検体採取日を0日目として、5日を経過すること）

– 保育所における感染症対策ガイドライン2018年改訂版（2023年5月一部改訂）–

最近の新型コロナウィルス感染症の症状は、やはり子どもよりも大人の方が重く出てきやすい印象が
あります。また、子どもの場合は1日だけぐんと発熱してその後引いて機嫌や活気は良くなる傾向に
あるので、熱中症みたいな感じだったかな?とか、分かりにくい感じがありますね。夏風邪は「発熱」「喉が痛い」という症状のものがいくつかあり、夏風邪にうまく紛らわせている感じがして、新型コロ
ナウィルスも巧みにカモフラージュしてきてるなーと。。。

ウィルスは細菌のように細胞を持っていないので自身のみでは生きられません。生き残るために何か生物の細胞内に入り込まねばならないので必死ですよね。

ウィルスたちの攻防戦。目には見えませんが面白いなあと思いつながら感じています。（ちなみに上記の
感染症、溶連菌感染症以外は全てウィルスが原因の感染症となります。溶連菌は細菌が原因なので抗
生物質が効くんですね ^^）

しかし、細菌やウィルスが体内に入ってきても、自分の体がその菌たちに対抗できる体であれば「感
染」は成立しません。大人も子どもも、バランスよく食べて栄養をとり、適度に運動して、よく寝ましょ
う。免疫力を上げることがとても大切です。

– 看護師 通山

◎感染症状況(8月分): アデノウィルス感染症1名、突発性発疹1名、ヘルパンギーナ2名、
新型コロナウィルス感染症2名(職員4名)、溶連菌感染症5名

職員 の声

今年の夏休みは、新潟の佐渡ヶ島へ行きました。泊まらせてもらひ、家の目の前の海では、サザエやアワビが獲れ、夜は星はもちろん、天の川も見えるほどの自然が豊かです。スーパーまで車で1時間近くかかるけど、この歳になつてくると!?こんなゆったり時間、過ごし方に豊かさを感じます。(ハマジマ)

暑...暑... やはり
最近 美術館によく行きます。
東京都現代美術館のオーラニー展
もあひましたが、古代メキシコ展
(上野)もあひましたが、ついでに
めでたく3年混んでいたいと。
青山

中3 鮎川 寶子 母
喜澤 亞希子 母
中3の夏の経験です。丁寧で、良い。9年間の里芋生活もあり、いろいろありました。丁寧な笑顔で、感動して負けずの負けました。今日も七味山椒が美味しい。これからは経験は母。。。新たに経験をさせたいと思います(笑)

17年使っていに洗濯機
が壊れました。新しい
洗濯機がくるまでコイン
ランドリー生活をしていますから、
今のコインランドリーはオシャレで
気分が上がりりますね!でも
家で洗濯せまいのはとても
不便です....(京)